

元宝塚歌劇団
星組トップスター
紅ゆずるさんと学ぶ

自動車リサイクル

昨年、宝塚歌劇団を退団し女優として新たなスタートを切った紅ゆずるさん。

「共創」と「変化」が輝き続けるカギに

宝塚マニアに人気の喫茶店「珈琲館 紅鹿舎」で、宝塚ファン歴30年の日経BP執行役員・高柳正盛が輝き続けるコツに迫った。



CHECK IT!
紅さん出演情報:時代劇専門チャンネル「華麗なる宝塚歌劇の世界 Season2」ナビゲート番組出演 8/17 22時〜、「紅ゆずるディナーショー〜The Birth〜」大阪12/27、東京12/29、横浜1/5開催予定。紅ゆずるオフィシャルファンクラブ「紅カントリー」も入会受付中!

自動車リサイクルの仕組みは循環型社会の実現に貢献

自動車業界も、何十年前から努力と工夫を重ね、絶え間なく循環型社会の実現に向けて自動車リサイクルに取り組みられています。紅さんは、普段、どのようなリサイクルに取り組みられていますか?

紅 宝塚時代から空き缶やペットボトルの分別を担当したり、仕事で使った私服などをリサイクルに出したりと、身近なところでリサイクルをしています。今日、お話を伺うまで自動車リサイクルのことは詳しく知りませんでした。そのほとんどをリサイクルできていると聞き、大変驚きました。

自動車は、主に鉄・銅・アルミなどからできていて、まさに資源の塊なんです。使用を終えた自動車を適正に処理し、回収した再生資源を利用していく取り組みは循環型社会の実現につながるのです。

紅 自動車リサイクルの仕組みは、幸せな未来を創るリーダー的な存在ともいえるんですね。

「共創」を基盤に、変化していく勇氣を持つ

自動車リサイクルの仕組みは、自動車ユーザーや自動車メーカーをはじめ、自動車に関わる全ての人々が主体的に役割を果たす「共創」の理念が仕組みの根幹。この「共創」の理念は、宝塚歌劇団にも通じるところがあるとも思います。

紅 宝塚には、トップスターから初舞台生まで、力を合わせてひとつの舞台を作り上げていく文化があります。一人ひとりが一生懸命頑張る、できないところは補い合い助け合う。また宝塚の世界には、演出家や舞台スタッフの方々、さらには熱狂的なファンの方々、多様な立場の人たちの存在も欠かせません。こうした環境で培われたものは、私の基盤となっていて、思います。誰もがそれぞれの立場で主体的に役割を果たす、自動車リサイクルと同じですね。

100年に一度の大変革時代を迎える自動車業界の中で、自動車リサイクルもさらなる発展が求められています。宝塚から羽ばたき、紅さんもこれから変革期を迎えますが、今後の展望をどうお考えですか?

紅 宝塚時代は、自分にしかできないものを追求していましたが、退団後も、「他の女優さんとは何か違う」と思ってもらえる存在になりたいです。それから、何事も新たな気持ちで臨みたいと思います。「宝塚の元トップスター」という職業はありますが、輝き続けるためには、変化を恐れないことが大事。今回の自動車リサイクルの取り組みを知ることで、何事も時代の変化に向き合い、日々、チャレンジしていくかなければならないことを改めて実感しました。まずは行動しなければならぬですね。宝塚時代のファンの方には違和感があるかもしれませんが、早く切り替えるためにもスカートをはきますよ(笑)。「不安」を「楽しみ」に変えて、進んでいきたいです。

国内ではSDGs(持続可能な開発目標)に注目が集まっています。日本の基幹産業である自動車業界においても、それ以前から循環型社会の実現に取り組まれ、その中でも自動車リサイクルはジャパンモデルと世界から評価されています。現在、電気自動車などの次世代自動車の普及や自動運転技術の向上など100年に一度の大変革時代を迎え、その中でも絶え間なく進化に向けた努力が続けられています。今回は、時代とともに変化し、100年以上続く宝塚歌劇団の元トップスターの紅ゆずるさんにお話を伺い、輝き続ける共通のカギを探ります。

引き継がれる伝統と新しい循環が宝塚の真骨頂

紅さんは昨年10月に宝塚歌劇団・星組トップスターから女優に転向しました。まずは現在の心境をお聞かせください。

紅さん(以下、敬称略) 仕事や生活を変えることは、誰でも不安を感じるものだと思います。私も宝塚時代、退団した先輩方から「生活の違いについていけない」という話をよく聞いていました。実際に退団した今、その気持ちも実感しています。一方、新しいことに挑戦できる毎日を楽しんでもいるんです。ただ、それは、宝塚でやり

たいことはやり切ったという自負があるからだと思います。

紅さんご自身も演者として長いキャリアをお持ちですが、所属していた宝塚歌劇団は100年以上の歴史を誇ります。これほど長く続いていく理由は、何だと思われませんか?

紅 宝塚は、妥協のない厳しい世界ですが、それを共有したことにより仲間の絆が深まり、家族のようなものがあります。引き継がれているんです。退団後、驚いたのは、私とは違う時代を生きた先輩方とも同じ感覚で語り合えること。宝塚の歴史はつながっていると感じました。

一方で、トップスターが定

期的に変わることが、いい循環を生んでいるように見えます。

紅 トップが変わるということは、ひとつの時代が終わって、新しい時代が始まるということ。演目も組のカラーもがらりと変わります。常に変化があるから、続いているのかも。

変化を恐れないことが大事。
新たな気持ちで進んでいきたいです。

PROFILE
紅ゆずるさん
Kurenai Yuzuru
2002年に宝塚歌劇団に第88期生として入団し初舞台を踏む。その後星組に配属され、2016年星組トップスターに就任。2019年10月「GOD OF STARS-食聖-」「Eclair Brillant(エクレールブリアン)」東京宝塚劇場千種楽をもって退団。これまでの男役から女優として新たなスタートを切る。今後は映像や舞台など様々な作品に挑戦していく。

撮影協力/珈琲館 紅鹿舎
ヘアメイク/KUBOKI(Three PEACE)
スタイリスト/菊池志真

覚えておきたい!
役割を明確化し、皆の主体的な行動・連携により循環型社会の実現を進める自動車リサイクル

使用を終えた自動車を環境に負荷をかけることなく、資源として無駄なくリサイクルすることは、地球に住む私たちの大切な役割。日本の自動車リサイクルは、自動車ユーザーである私たちをはじめ、製造事業者である自動車メーカー、販売店・整備店などの引取事業者、解体事業者、破碎事業者などの役割を明確化し、廃棄物の削減と資源の有効利用を目指している。「共創」の理念の下に、それぞれが主体的に行動・連携し、循環型社会・サステナブルな社会の実現に寄与。「ジャパンモデル」と呼ばれ、世界的にも注目を集め、ユニークな仕組みと評価されている。

CHECK IT!
詳しくは、自動車リサイクル促進センターのWebサイトへ。